

第50回全国中学校ハンドボール大会

試合結果・戦評報告

競技日	令和3年8月23日(月)	試合番号	A 2	回戦	1回戦
種別	中学生	会場	サイデン化学アリーナ		

Aチーム			Bチーム		
手代木 (茨城)			大住 (京都)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
21	8	前半	17	30	
	13	後半	13		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7 m T C			

戦評

手代木 (茨城) と大住 (京都) の1回戦は、大住のスローオフで始まる。両チームとも豊富な運動量から、切れ味鋭い動きを見せる。大住は序盤、安定したディフェンスから速攻の形で、連続得点をあげる。対する手代木は3番を中心に攻撃をしかけるが、大住のディフェンスをなかなか崩せずリードを許す展開となる。大住が6-2と4点リードした場面で、手代木がたまたまタイムアウトをとるが、流れは変わらずに大住が得点を重ねる。何とか流れを変えたい手代木は3番が15分、17分と速攻から得点を重ねて2点差まで詰め寄り、反撃の狼煙をあげる。しかし大住は15番のロングシュートを中心に立て続けに得点。17-8と大住が手代木に大きくリードし、前半を終了する。

後半も大住が優勢。後半から投入された大住の19番が見事なブラインドシュートを決めるなど、着実に得点を重ね、後半10分までに23-13と大きくリード。何とか一矢報いたい手代木は、3番のロングシュートで得点し、19分には6番が相手のファールを受けながらもサイドシュートを決め、必死に食い下がる。大住は退場者を出し、流れが変わるかと思われたが、大住7番がカットインから得点。流れを渡さない。手代木は3番を中心に攻撃を展開し、得点するが、大住のミスの少ない安定した試合運びでそのままリードを守りながら試合終了。30-21で大住が手代木を退け、2回戦へと駒を進めた。

記載者名	
------	--